

ひとり親家庭状況調査（令和5年10月）の結果について

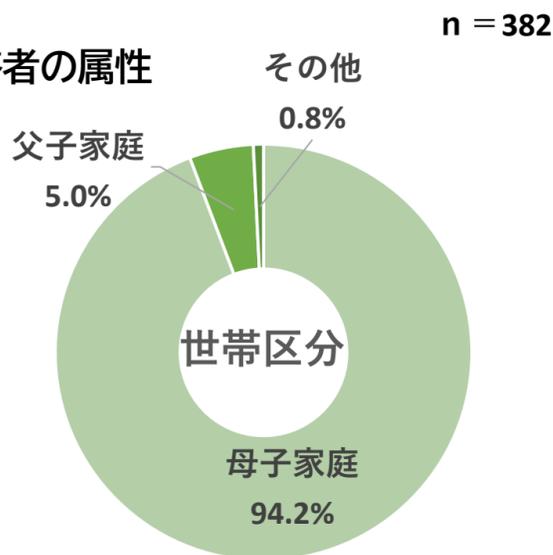
県民文化部こども若者局 こども・家庭課

1 調査の概要

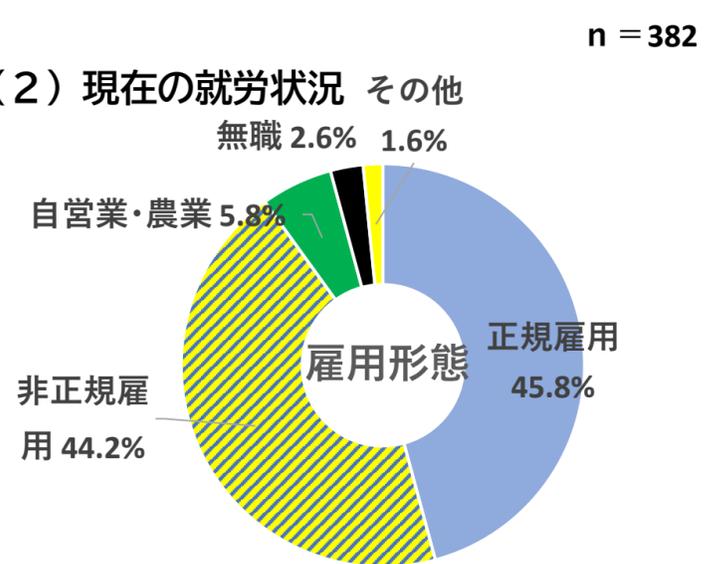
- (1) 調査目的 物価高騰に伴うひとり親家庭の実態を把握し今後の支援に活かす
- (2) 調査対象 児童扶養手当受給者2,181人
- (3) 調査 調査票を配布し電子申請又はFAXにより回答
- (4) 調査期間 令和5年10月1日～12月31日まで（調査基準時点令和5年10月）
- (5) 回答数 382人（回答率 17.6%）

2 調査結果の概要

(1) 回答者の属性

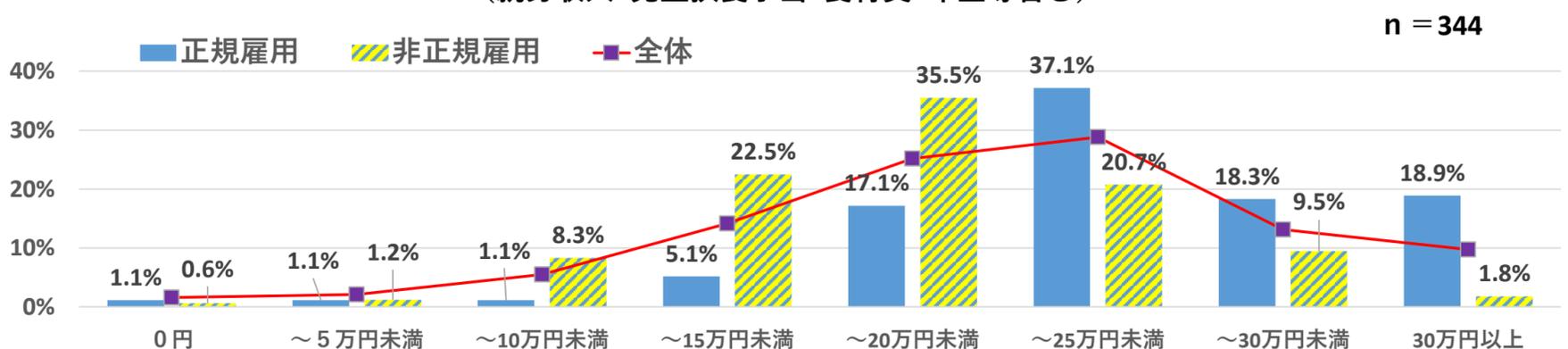


(2) 現在の就労状況



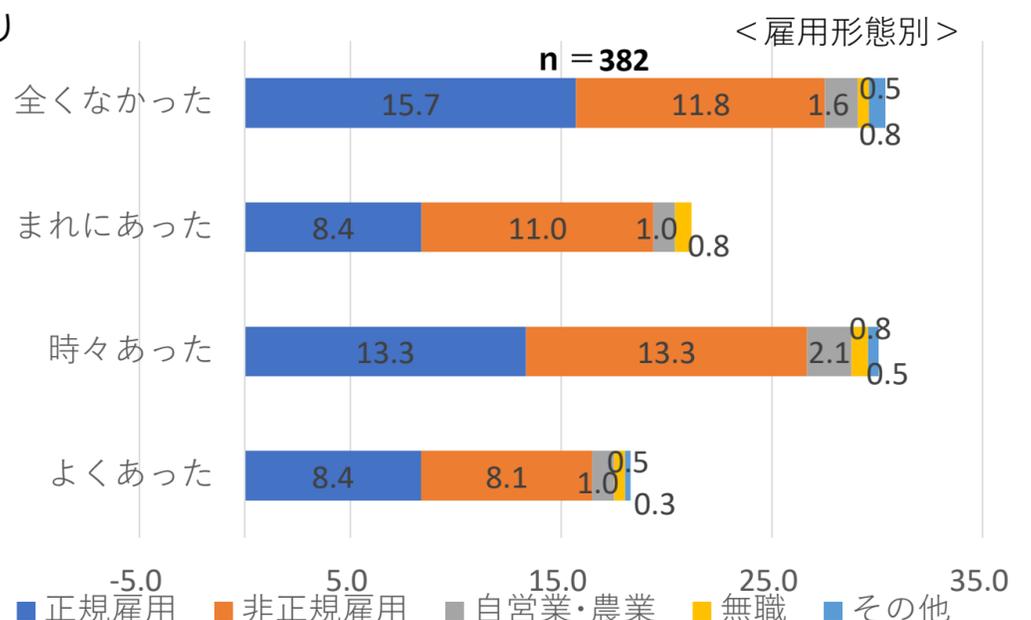
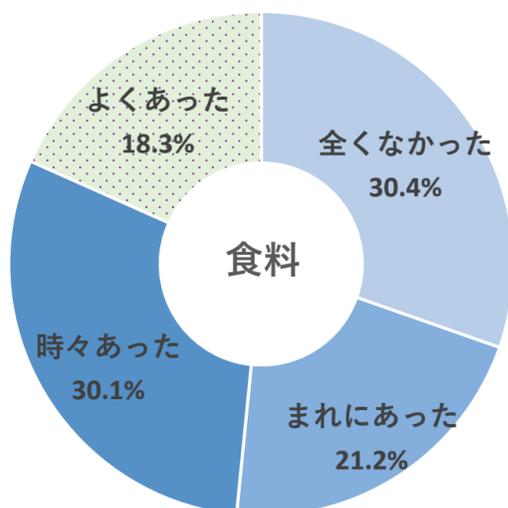
(3) 令和5年10月の月収について（税などの控除前の額面）

総収入（月額）の分布（就労収入・児童扶養手当・養育費・年金等含む）



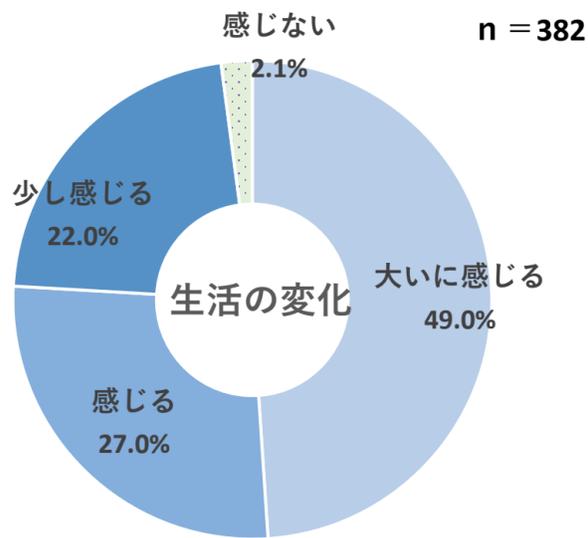
(4) 令和5年10月に必要とする食料を買えなかったことはありますか

「よくあった」「時々あった」で48.4%となっており
「まれにあった」を含めると69.6%となっている



(5) 物価高騰前と比較して生活が苦しいと感じますか。

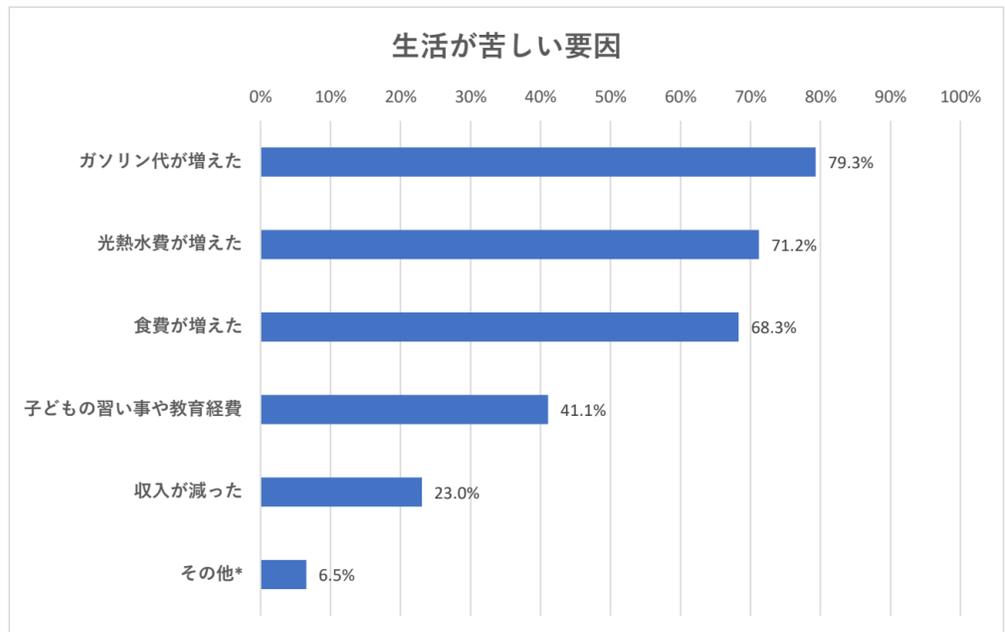
「大いに感じる」「感じる」が約76%を占め、「少し感じる」を含めると97.9%となっている



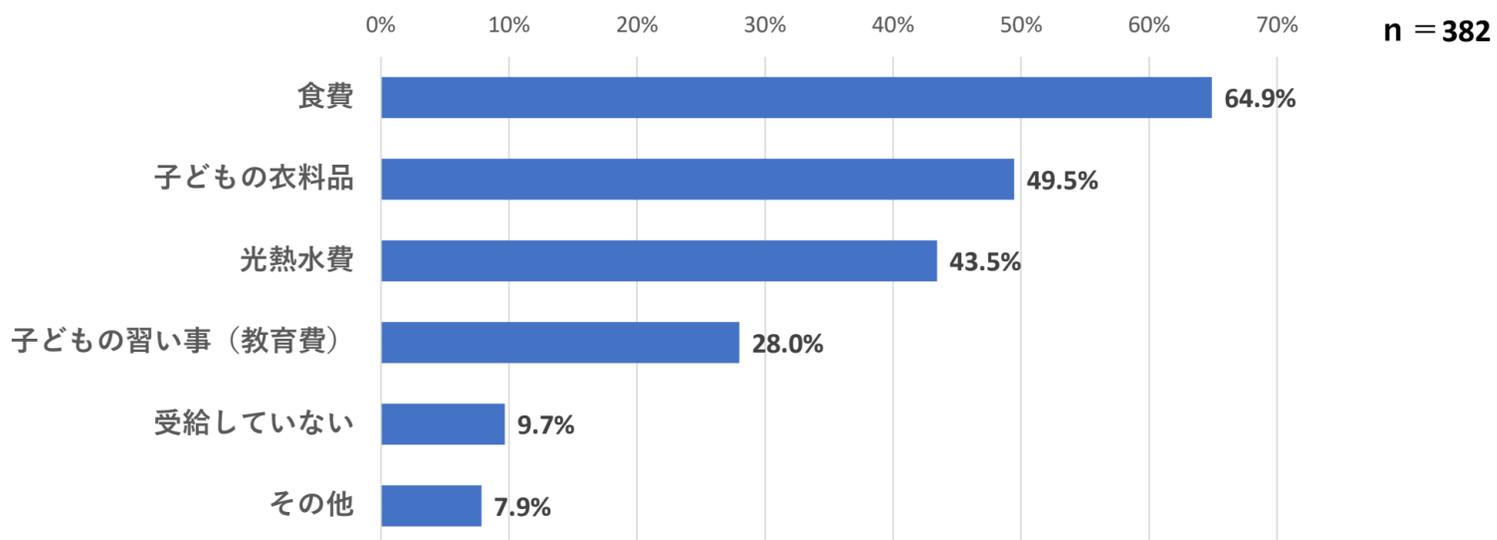
「生活が苦しい」と感じる要因（複数回答）

物価高騰により、ガソリン代、光熱水費、食費等、支出の増加が要因として挙げられている

n = 374

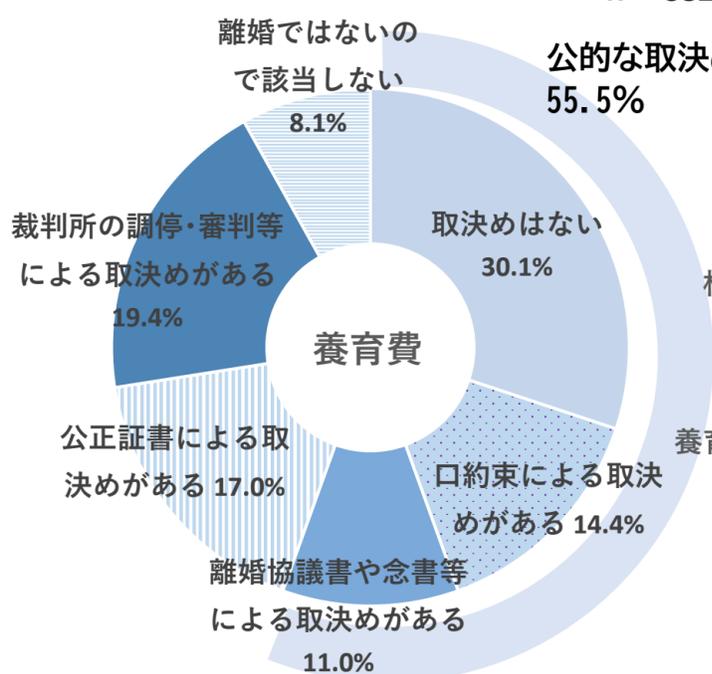


(6) 今年度ひとり親に対し児童1人当たり5万円の特別給付金が支給されましたが、主な使い道は何ですか（複数回答）



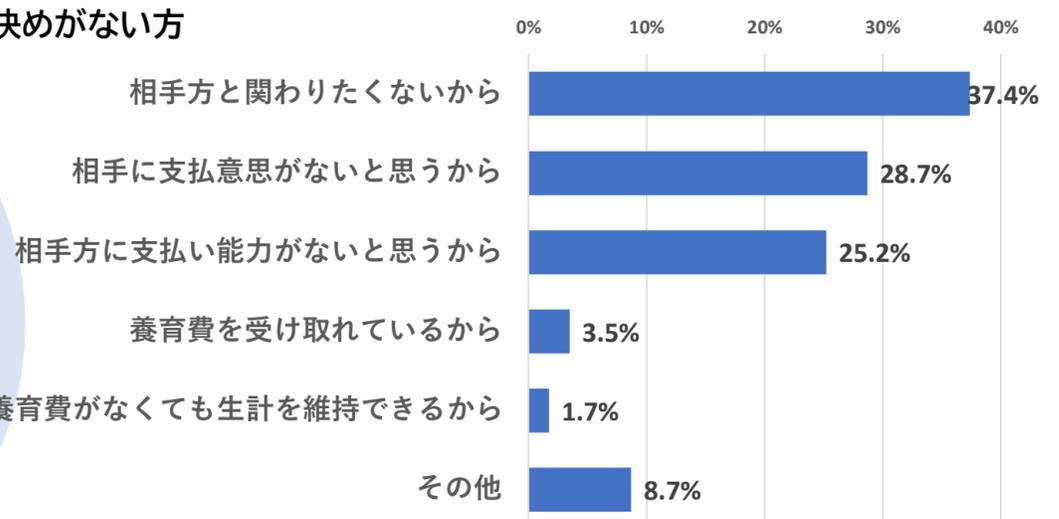
(7) 養育費に関する取決めをしていますか

n = 382



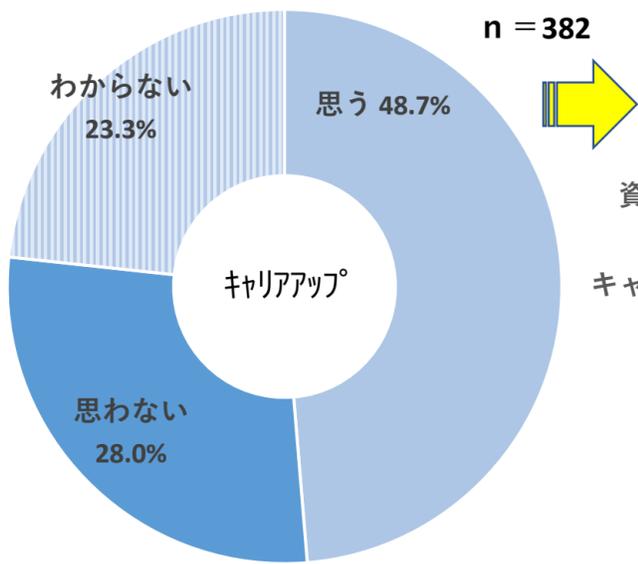
(8) 「公的取決めはない」理由はなぜですか

n = 107



(9) キャリアアップ等の意向

「キャリアアップを図りたいと思う」が約半数である。



(10) キャリアアップ等に必要な支援（複数回答）

